

公募制学校推薦型選抜のポイント

東海大学 体育学部体育学科／競技スポーツ学科／武道学科／ 生涯スポーツ学科／スポーツ・レジャーマネジメント学科

掲載している内容は、過去に実施された試験について、受験生からの聞き取り調査をもとにまとめたものです。ポイントは、授業を担当する講師が指導上、重視する点を簡潔にまとめたものです。入試内容は、変更になる可能性があります。本年度の入試については、入試要項等でご確認ください。

◆小論文試験の形式とポイント

- 形式 横書き原稿用紙 800字以内
- 時間 60分 課題 テーマ型
- 課題の内容は他学部と共通となる。共通の課題になる学部は年度により変わることがある。

●ポイント

丁寧な字を心がけ、原稿用紙の8割(640字)から9割(720字)は埋めること。

1マスあけて書き始め、改行して3つまたは4つの形式段落をつくり、読みやすくすること。

文体は、「～です、～ます」ではなく「～だ、～である」など敬語を使わない「常体」に統一して書くこと。

テーマ型の場合、課題で問われていることを明確にし、正確に答えなければならない。小論文の典型的なまとめ方を身につけて、幅広い課題に対し、柔軟に対応できるようにする。

課題が他学部と共通であるため、保健体育に偏らず様々な分野の知識や理解が必要となるが、課題に対して、体育・スポーツ・健康からの視点で論じられるかどうか、まず考えてみる。

問題例 2024年度実施…14学部共通(文学部／教養学部／児童教育学部／体育学部／健康学部／経営学部／国際学部／観光学部／情報通信学部／情報理工学部／医学部看護学科／人文学部／文理融合学部／国際文化学部)

(問い)

コロナ禍において、対面で接することや移動を避ける生活様式は、人間が持つ社会性や人とのつながりに変化をもたらしました。現在では行動制限が撤廃され、コロナ禍以前の生活に戻りつつありますが、あなたは他者と対面で接することの価値や意義をどのように考えますか。対面で接することのプラス面とマイナス面の両方に触れながら、あなたの考えを述べてください。

構成例

第1段落 序論 問題提起をし、端的な答えを用意する。

コロナ禍の影響により私たちの生活は、大きな影響を受けた。同時に、他者と対面で接することの価値や意義について、見直す機会にもなった。ここでは、具体的にはどのような変化が起こり、どんな価値や意義を見出すことができたについて論じたい。(先に結論を書いてしまってもよい)

第2段落 本論

コロナ禍に起こったことを挙げた上で、他者と対面で接することの価値や意義について、プラス面とマイナス面の具体例を、それぞれ具体的な事例をあげて説明する。

例えば、マイナス面は、再び感染症が広がる危険性があること。また、web 利用により、実際に移動することなく多くの人と会話ができるようになったり、IT 機器をより多くの人が使いこなすようになったりしたが、それが逆戻りしがちであること。プラス面では、リアルな表情や息遣い、五感全てを使ったコミュニケーションが可能となる点。特にスポーツ指導における場面の利点を書くともよいだろう。

第3段落 結論は、序論の際に述べた答えを繰り返す。

以上のことから、他者と対面で接することには、〇〇〇〇という価値や意義がある。

◆面接試験（口述試験）の形式とポイント

- 形式 志望動機等の一般的な質問と学部・学科・専攻に関連ある基礎学力・基礎能力の口述試験
- 時間 10 分程度

●ポイント

面接試験の基本として、東海大学に関する理解を深めておくこと、および自分の将来の夢（目標）を明確にしておくことが必要となる。そのうえで、なぜ東海大学なのか、なぜ東海大学でなければならないのかを伝えられるようにしておく。

- 学科ごとの面接と口述試験で聞かれた内容の例（聞き取り調査による）

◆面接項目（各科共通）

- ・数ある大学から東海大学体育学部を選んだ理由
- ・将来の夢
- ・将来どの世代に対して教えていきたいのか
- ・自己PR
- ・部活動から学んだこと
- ・大学入学後の部活動

- ・楽しみにしている授業
- ・授業以外で頑張りたいこと
- ・関心のあるニュース
- ・ボランティアをしたことで、将来保健体育教員になったときに活かせることは？

◆体育学科

- ・感染症の予防について
- ・トレーニングの5原則

◆競技スポーツ学科]

- ・スポーツ倫理とアンチ・ドーピングについて

◆生涯スポーツ学科]

- ・ライフステージに応じた生涯スポーツのかかわり方
- ・健康とスポーツの関係について

◆スポーツ・レジャーマネジメント学科]

過去出題例：英語短文

- ・オリンピック招致のプレゼンテーション
- ・ラグビーワールドカップ 2019 日本大会について

◆実技試験の形式とポイント

- 形式 マット運動と縄跳び、30m 走（ジグザグドリブルとボール投げを含む）を連続して行う。
- 大学ホームページおよびYouTube の動画で試験内容の詳細を見ることができる。

●ポイント

マット運動…側転は手をつく位置と大きく回することを意識する。

縄跳び…リズムよく、同じ軌道で縄を回すことを意識する。

ジグザグドリブル～ボール投げ～30m 走…ジグザグドリブルは両手を使ってリズムカルに行う。

以上